

鹿児島県新財務会計システム構築に係る 情報提供依頼書（RFI）

令和4年11月

鹿児島県出納局会計課

1 情報提供依頼の背景

現行の財務会計システム（以下、「現行システム」という。）は平成13年から現在にいたるまで約21年間、鹿児島県の会計事務を支えるシステムとして稼働してきた。近年は、長期運用による度重なる改修によりシステムが複雑化したことで、キャッシュレスやペーパーレス化等の機能改善を求められる場面で、改修費用の高止まりの懸念から対応を躊躇する状況となっている。

一方、時代はインターネットの普及に伴うDX推進やコロナ禍によるリモートワークの浸透、国においては地方公共団体の基幹業務システムの統一・標準化への移行が進められようとしており、今後は財務会計システムを含めた内部事務系システムについても同様の動きが進む可能性も否めないためその動向を注視していく必要がある。

このように現行システムを取り巻く環境は刻一刻と変化しており、今後の変化に柔軟に対応していくには独自性の強い現行システムを使い続けるより、全国の自治体で広く使われノウハウが蓄積されたパッケージ製品へ移行することが鹿児島県にとって有用であると想定したことから今回、財務会計システムの再構築を検討することにした。

2 情報提供依頼の目的

今回の情報提供依頼は、財務会計システムパッケージの導入により、業務の効率化、システムの標準化及び拡張性への対応が可能かどうか検討を行うために情報収集するもので、各事業者から提供いただいた情報は、新システムの実施設計や導入計画を検討する際の参考情報として活用させていただきますので積極的な情報提供をよろしくお願いいたします。

3 情報提供依頼の内容

以下の事項について情報提供をお願いします。

No.	提供を求める資料名	資料の内容	必須
1	財務会計システムパッケージカタログ	財務会計システムの全体構成やサブシステム及びシステムの特徴を記載した資料。	○
2	機能一覧	サブシステム毎の機能名や機能説明を記載した資料。	○
3	データ一覧 ※ER図	システム全体で管理するマスターデータやサブシステム毎に管理しているデータの一覧。 ※データとデータの間を関係図化したER図を可能な範囲で構いませんので提供して下さい。	○ ER図は任意
4	画面一覧 ※画面サンプル	サブシステム毎の画面名や画面説明を記載した資料。 ※ログイン画面やメニュー画面、業務画面の構成や特徴を確認できる画面サンプルをピックアップして提供して下さい。	○

次ページへ続く

前ページの続き

No.	提供を求める資料名	資料の内容	必須
5	帳票一覧 ※帳票サンプル	サブシステム毎に出力される帳票名や帳票説明、出力方法（オンライン/バッチ/月中バッチ）や出力タイミング（日次/月次/年次/随時）を記載した資料。 ※予算執行に係る伝票や決算関係資料で帳票の内容や特徴を確認できる帳票サンプルをピックアップして提供して下さい。	○
6	システム化業務フロー図	各種業務の単位でシステムを利用した業務の流れが確認できる資料。 ※出納管理業務（消込、支払、更正等）の流れについても提供して下さい。	○
7	キャッシュレス対応状況	ペイジー収納やコンビニ収納の対応状況について確認できる資料。 ※クレジット収納など他の収納チャネルへの対応状況についても提供して下さい。	○
8	ペーパーレス、電子審査、電子決裁対応状況	予算執行に係る伝票のペーパーレス化や電子審査、電子決裁の対応状況について確認できる資料。	○
9	新地方公会計制度への対応状況	新地方公会計制度への対応状況について確認できる資料。	○
10	決算統計の対応状況	現在、決算統計業務については年度末に出力される歳出決算事項別明細表を見ながら手作業で目的別から性質別へ決算額の仕分けを行い決算ログ等の資料を作成しておりますが、パッケージの決算統計機能を利用することで性質別への仕分けや金額のまるめ処理、国の制度改正対応等をどのように実現できるかを確認できる資料を提供してください。 ※予算編成システムから決算統計へ連携するデータ項目についても提供して下さい。	○
11	予算執行の単位について	予算執行の単位について確認できる資料。 (参考)鹿児島県の予算執行単位 目別執行、事業別執行、経理区分別執行	○
12	導入スケジュール概算費用	現在、鹿児島県が想定しているシステム化対象範囲やスケジュール感を元に <u>業務をパッケージ標準に合わせて導入した場合</u> の導入スケジュールを工程付きで提供して下さい。概算費用についても導入費用と保守費用を内訳付きで提供して下さい。	○

次ページへ続く

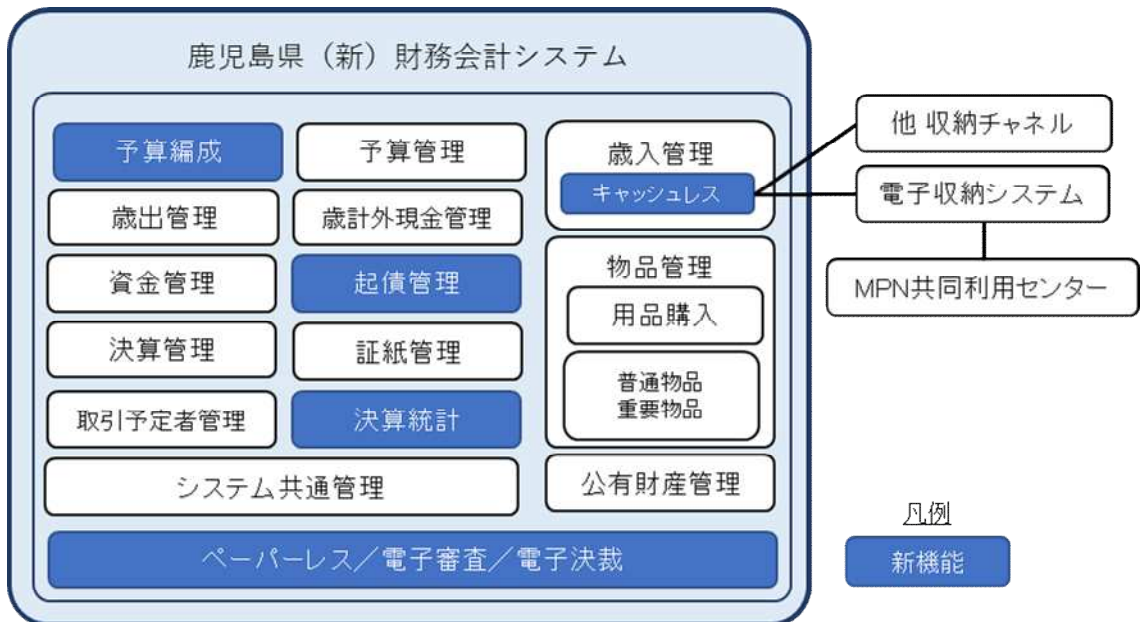
前ページの続き

No.	提供を求める資料名	資料の内容	必須
13	導入実績	過去10年以降の県レベルの導入実績を自治体名、対象業務、業務毎のカスタマイズ割合、導入費用（概算で可）が確認できる資料を提供して下さい。	○
14	財務会計システムパッケージの標準化への対応状況	財務会計システムパッケージについて導入先自治体の要望等をパッケージ標準仕様として導入済み又は導入予定である事が確認できる資料を提供して下さい。	○
15	内部系基幹業務システムの統一・標準化への対応状況	県のレベルで内部系基幹業務システムの統一や標準化を目的とした取り組みについて確認できる資料があれば可能な範囲で構いませんので提供して下さい。	任意

3 情報提供依頼の対象範囲

鹿児島県が現在想定している新財務会計システムのシステム化対象範囲は以下のとおりです。
 (今後の検討次第では変更の可能性もあります。)

図1 (新)財務会計システムのシステム化対象範囲



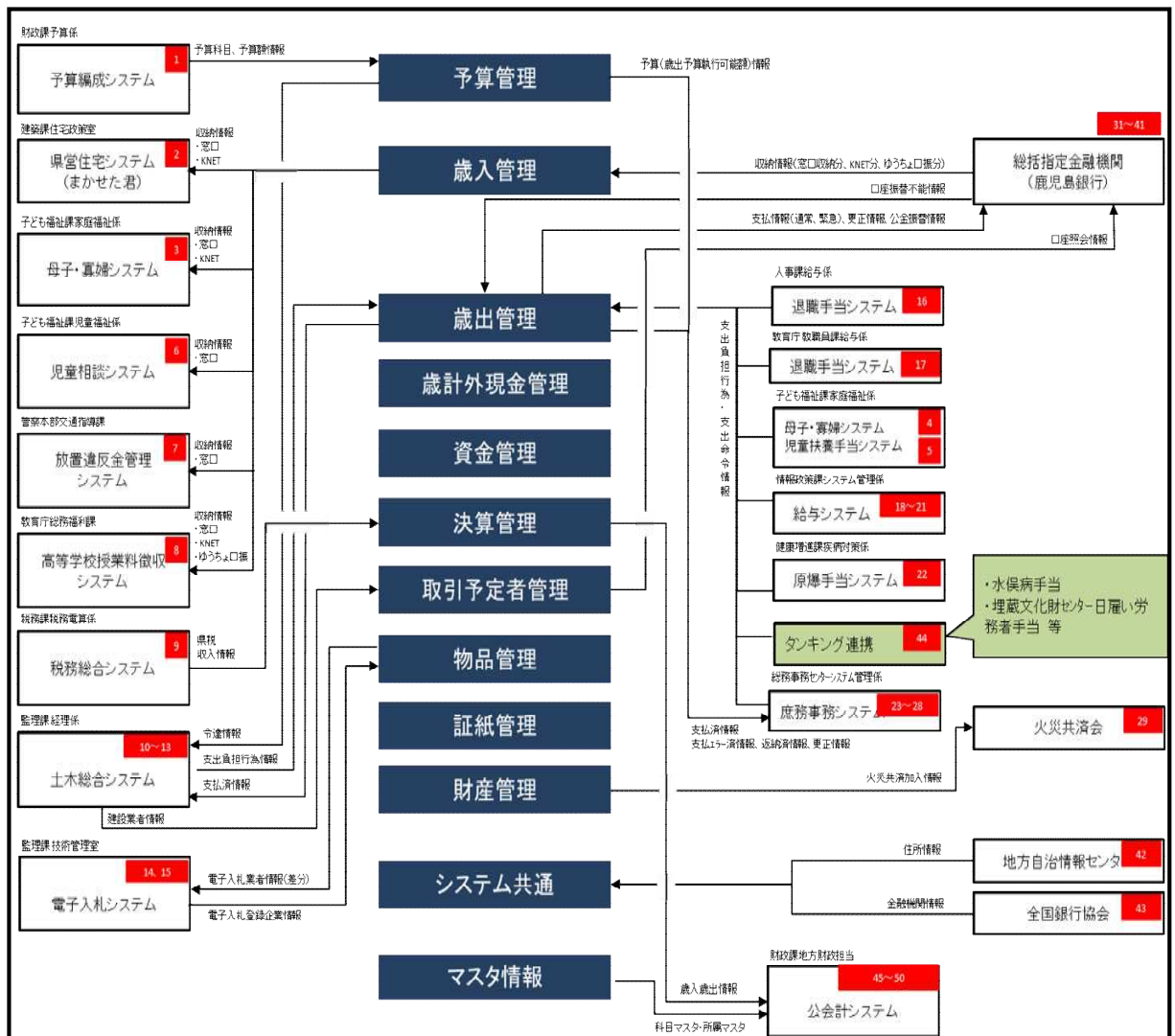
鹿児島県が想定している新システムの導入スケジュールの予定は以下のとおりです。

令和4年10月～令和5年3月（6カ月）	基本調査
令和5年4月～令和6年3月（12カ月）	実施設計
令和6年4月～令和6年6月（3カ月）	調達
令和6年7月～令和7年10月（16ヶ月）	システム構築
令和7年10月～	新システム本稼働
（参考）～令和8年6月	現行システム稼働

- ・現在の想定では現行システムは令和7年度の決算処理まで稼働させ、新システムの稼働は令和8年度の予算編成を行う令和7年10月頃を想定しています。
- ・システム構築の開始時期は、情報提供頂いた内容等を確認したうえで調整は必要と考えています。

（参考）現行システムと連携している他システムは以下の通りです。

図2 現行財務会計システムの他システム連携全体概要図



(参考) 現行システムの利用者数は以下の通りです。

部局名	会計職員
知事部局	2,180
県立病院局	2
教育庁	478
警察本部	65
合計	2,725

4 情報提供要領

(1) 提出書類、内容について

3 情報提供依頼の内容のとおり

(2) 提出方法について

ア 郵送・持参の場合

提出書類を保存した電子媒体（CD-R 等）に「財務会計システム構築に係る情報提供依頼」のラベルと会社名のラベルを貼付し、会社名、担当者、連絡先が分かる名刺等を同封して以下の提出先に提出してください。

イ 電子メールの場合

提出書類を添付して、件名を「財務会計システム構築に係る情報提供依頼」と記載して会社名、担当者、連絡先を記載して以下の提出先のメールアドレスまで送信して下さい。5MB を超えるファイルはメールでは受け取れませんので、その旨をメールにてご連絡下さい。外部ファイル送受信システムの利用案内をいたします。

(3) 質問及び質問に対する回答について

この情報提供依頼に係る質問は質問書（別紙様式）により受け付けます。

質問の受付期間：令和4年11月4日（金）～令和4年11月15日（火）

質問に対する回答は、質問書を送付頂いたメールアドレス宛てに返信するとともに鹿児島県ホームページにも掲載します。

(4) 資料提出期限について

令和4年11月25日（金）17時まで

(5) その他

ア 情報提供頂いた事業者に対して後日、提供頂いた資料の内容等について質問や追加で資料の提供等をお願いする場合があります。

イ 情報提供頂いた事業者に対して後日、製品の説明やデモンストレーションをお願いする場合があります。

ウ この情報提供依頼に要する一切の費用は事業者の負担とします。

エ 提供頂いた資料は返却しません。

オ 提供頂いた資料は2項の目的のために本県の関係課及び「財務会計システム再構築に係る基本調査技術支援業務」を受託した株式会社鹿児島頭脳センターで利用させていただきます。提供者の断りなく第三者へ開示することはいたしません。

カ この情報提供依頼は、新システム構築のために広く情報を得るための手段であり、情報提供を頂いた事業者と将来の契約を前提としたものではありません。また、情報提供を辞退された事業者に対して不利益に扱うこともありません。

(6) 質問書及び資料の提出先

鹿児島県出納局会計課出納管理係 担当：大重，後藤

〒890-8577

鹿児島県鹿児島市鴨池新町10番1号

電話番号：(099) 286-3775

メールアドレス：zaimusys@pref.kagoshima.lg.jp